

そっけん 息軒だより

三計の教え

あした
一日の計は朝にあり
一年の計は春にあり
しょうそう
一生の計は少壮の時にあり



令和6年度8・9月号(第45号)

発行 宮崎市安井息軒記念館
管理 NPO 法人 安井息軒顕彰会
理事長 徳村光郎 館長 川口眞弘
〒889-1605
宮崎市清武町加納甲3378-1
TEL 0985-84-0234
FAX 0985-84-2634
e-mail sokken.yasui@pic.bbiq.jp
<https://yasuisokken.jp>

QRコードを読み取ると、記念館のホームページがご覧になれます

宮崎市安井息軒記念館のめざす姿…

日本を近代的法治国家へと導いた知の巨人、安井息軒に

触れる、親しむ、学ぶ、そしてその生き方に学ぶ記念館

安井息軒は清武「明教堂」、飢肥「振徳堂」、江戸「三計塾」で約2,000人の優秀な弟子を育てた素晴らしい教育者でもありました。明治になってからは、勝海舟や山岡鉄舟から明治天皇の先生役を依頼されたほどです。明日を担う青少年を育むため、当館では幼保こども園等の園児による梅ちぎり体験から、小学生の遠足・校外学習、かるた大会、夏休みこども息軒塾等さまざまなこども向けのプログラムを準備しています。

近隣の大学からも授業の一環として来館。特に小学校に関しては、市内の半数近い学校が来館し、息軒に触れ、親しみながら、学習を深めています。



幼稚園 梅ちぎり



小学校 校外学習



幼稚園 梅ちぎり



小学生息軒かるた大会



小学生 校外学習



夏休み こども息軒塾



小学生かるた大会



夏休みこども息軒塾



清武小学校



大久保小学校



加納小学校



清武中学校



加納中学校

令和6年度 安井息軒記念講演会は宮崎市民文化ホールで開催★🌈

明治9年9月23日、儒宗（儒学者のトップの座にある人物）安井息軒は家族や、たくさんの弟子たちに見守られながら、息を引き取ります。この息軒の命日を胸に刻み、息軒の偉業を顕彰するため、例年9月23日は、まず宮崎市の主催で記念館の安井息軒廟の前で厳粛な雰囲気のもと、その他の偉人も含めた先人祭を開催します。例年ですとその後すぐ清武文化会館で、上記の講演会を開催してきました。ところが今年は清武文化会館が改装工事中のため、午後宮崎市民文化ホール・イベントホールで記念講演会を開催します。



講師：産経新聞に「日本の道統」を連載

大場一央先生：「江戸思想の中の安井息軒」

北海道札幌市出身 早稲田大学後期博士課程を経て博士号取得

現在 早稲田大学、国士舘大学、國學院大學非常勤講師

江戸時代における儒学の潮流の中で息軒が果たした役割と、後世に与えた影響について、詳しく解説していただきます。入場料無料です。1面の記念館連絡先から、お電話、FAX、メール等でお申し込みください。その際、お名前とご住所、ご連絡先をお知らせください。下記のQRコードからもお申込みいただけます。

期日 令和6年9月23日（月・振替休日）

会場 宮崎市民文化ホール イベントホール

開場 12:30 開会 13:00

講演 13:20 ~ 15:00

安井息軒記念講演会申込用QRコード⇒



※ 事前に児童によるハンドベル演奏、終了後息軒劇の上演があります。

令和6年度 宮崎市安井息軒記念館秋企画ロビー展 開催間近🌈



雲井龍雄像

↑ 米沢市上杉博物館所蔵

「維新に散った非命の士 雲井龍雄」

三計塾の門をたたいた青年はそこで生涯の師と出逢います。師息軒は彼の人間性と才能を愛します。その青年の名は米沢藩士雲井龍雄。卓越した詩才をもち、理想の国家を目指して己の正義を貫きとおした龍雄は、薩長専横の政治に異を唱え、時代の激流の中で26歳の若き命を散らします。

開催期間 令和6年9月1日（日）～ 11月3日（日）

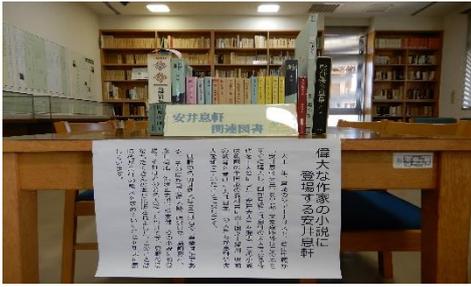
開催時間 午前9時～ 午後4時（最終入館）

↓ まんが「郷土の偉人 安井息軒」顕彰会発行 絵：藤井龍二氏



～ 令和6年6・7月のご来館 誠にありがとうございました!! ～

6月14日（金） 宮崎県学校教育研究会図書館教育部会



県内各地からご来館。見学と研修をされました。息軒の名前は森鷗外著『安井夫人』をはじめ、夏目漱石の『吾輩は猫である』ほか幾多の巨匠の小説に登場。そのことも紹介させていただきました。



6月20・21日（木・金） 清武中学校生徒による職場体験学習 ✨



男子生徒2名が2日間にわたって職場体験をしました。開館準備や展示解説、パネル作成、文化財の扱い方等について研修してもらいました。2名ともとても真剣に取り組んでくれました。



6月20・21日（木・金） 宮崎学園短期大学保育科1年の学生来館・受講・見学 🌈



7月13日（土） 川口市への小学生使節団派遣にかかる事前研修会児童来館 🍀

江戸から明治へ時代が変わるその時、昌平坂学問所の儒官を務めたり、一時は代官まで引き受けたりした息軒は、江戸の混乱を避けるため足立郡東領家（現埼玉県川口市東領家）へ9か月間疎開をし、現地の人々と親しく交流をしました。その縁で今でも川口市とは交流が続いています。今年川口市に派遣される小学生の使節団が事前学習のため来館し、研修しました。



7月18・19日（木・金） 新富町生涯学習講座受講生来館・見学

6月18日（火）、新富町生涯学習講座「いきいききり塾」の歴史講座の講師として館長が新富町に出向き、出前講座を実施。今回はその時の受講者が2日間に分けて約30名ずつ来館されました。まず座学をしておいて、その後実際に見学を実施され、どの受講生も熱心に学習されていました。百間は一目に如かず、大変すばらしい企画だなと感心しました。

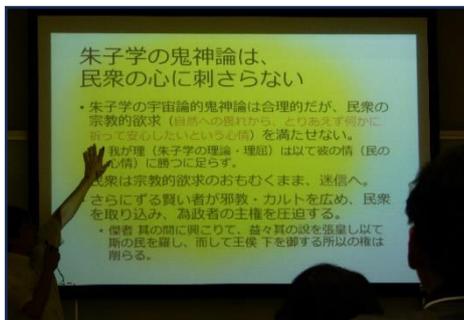


今年も安井息軒記念館講座 開講～ 講師：放送大学歴史研究会 那良則人氏
 「港町油津の変遷 ～ 薩摩の時代・飢肥の時代～」 6月22日（土）開催



好評の息軒会読 II もスタートしました 7月21日、28日、8月25日（日）：予定

講師 前安井息軒記念館学芸員 現宮崎大学学び・学生支援機構 特別准教授 青山大介氏
 『鬼神論』、『与某生論共和政事書』をみんなで読み解いていきます。



記念館講座のご案内

第2回安井息軒記念館講座
 9月21日（土） 10：00～11：45
 講師：日南市文化財専門担当員 長友禎治氏
 「西南戦争で西郷軍に参加した飢肥隊」
 さまざまな人間模様が描かれます！



安井息軒記念館 とっておきのおはなし “息軒廟と佐代夫人供養塔”

文政10年（1827）息軒は川添佐代と結婚します。時に息軒28歳、佐代弱冠15歳。二人は愛で結ばれ、4女2男に恵まれます。そのあたりの事情を文豪森鷗外は、小説『安井夫人』の中で語っています。そして二人は今、宮崎市安井息軒記念館の北側の庭園で…。それぞれの命日には「先人祭」と「お佐代さんを偲ぶ会」が開催されています。



安井息軒廟の息軒木像



佐代夫人供養塔



息軒廟と供養塔